

川崎市民のための生涯学習情報誌

# Stage Up

ステージ・アップ  
VOL.189  
2012年12月1日  
(隔月発行)

ホームページからも  
ご覧いただけます!



シリーズ《市内美術館・博物館とその所蔵品から》  
「伊藤家住宅」 川崎市立日本民家園

## 誌 上 ギ ャ ラ リ ー

川崎市立日本民家園は、急速に消滅しつつある古民家を永く将来に残すことを目的として、昭和42年に開園した野外博物館です。伊藤家は麻生区金程にあった入母屋造りの農家、大岡実教授ら横浜国立大学の研究者の調査によってその歴史的な価値が判明し、県内の民家で最初に国指定重要文化財に指定されました。日本民家園開園のきっかけともなった建造物です。

所在地:川崎市多摩区枳形7-1-1

小田急線向ヶ丘遊園駅徒歩13分、JR南武線登戸駅徒歩25分。

バス便もあります。

電話:044-922-2181 ※毎週月曜日は休園(祝日開園)

## もくじ

- 2 まち・ひと・多面体
- 3 シニアのパレット
- 4 特集  
“川崎ふるさとの小径”を  
歩いて -その1
- 6 施設めぐり
- 7 情報ポケット



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1  
TEL 044(733)5560(代) / FAX 044(739)0085

<http://www.kpal.or.jp/>  
ステージ・アップ TEL 044(733) 5811  
E-メール: [stage-up@kpal.or.jp](mailto:stage-up@kpal.or.jp)

当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するための諸事業を推進しています。

# まち・ひと・多面体

カヤグムを演奏する講師のカン先生



## パランセク(青い色) —韓国・朝鮮の文化を学ぶ—



ハングル文字の学習

川崎区桜本にある川崎市ふれあい館は、日本人と日本で暮らす外国人が、同じ川崎市民としてふれあいをすすめる施設です。ここで活動している自主サークル“パランセク”を訪ねました。

**パランセク**とは**青い色**という意味。韓国・朝鮮で青は古代から美しいところを表す言葉とのことです。パランセクには「チャンゴ=打楽器」「おどり」「カヤグム=弦楽器」「ハングル=韓国・朝鮮の言葉」の4講座があります。講座によっては初級・中級と分けたり、午後・夜間と分けたり、発表会を行ったりと、様々な工夫をして取り組んでいます。

**カヤグム講座**ではおどりとカヤグムを指導しているカン・パンガン先生のもと12弦の琴を片膝に乗せて爪弾きます。生徒の一人は日本の方、もともと日本の琴を学んでいましたが、ご主人の仕事の関係で韓国に滞在した折、民俗博物館で見たカヤグムに魅せられ、習ってみたいと思ったそうです。今も引越し先の千葉県から毎回熱心に通っています。



歌い奏でる練習風景

カヤグムは琴の演奏だけでなくチャンゴのリズムに導かれながら歌も歌います。この日、皆さんで披露してくださった「珍島地方のアリラン」の哀調を帯びた曲には、国という枠組を越えた共感を覚えました。

**ハングル講座**は初級から上級まで5クラスあります。市政日より等で知った無料講座で習い始め、もっと勉強したいとパランセクの講座に通う方が多いようです。この日は、隣り合わせの2教室に17人の男女が学んでいました。「韓国旅行に行って朝鮮文化に魅せられました」「韓国料理が大好き。せめてメニューくらいハングルで読みたかった」「韓流ドラマにはまり、読み書きに興味を持ちました」「近所に住んでいる韓国人と友達になりたかった」と動機は様々。複雑に思えた文字が、難しく聞こえた言葉が、一所懸命に学んだある日、突然ステップアップしたという体験談も聞かせていただきました。学ぶ喜びが教室に溢れていました。



ハングルで自己紹介の練習中

■問合せ：ふれあい館 ☎ 044-276-4800



## 出前講座でエコ発信! エコたのしみ隊

『エコたのしみ隊』は、川崎市地球温暖化防止活動推進センターの省エネグループに所属し、小学校などに出前講座をしているグループです。この活動は、川崎市が行っている地域環境リーダー育成講座第12期を受講した人たちの提案で始まった活動です。「楽しみながらでないとエコは続かない」との思いからこの名前になったと聞きます。

中野島小学校での事前打ち合わせを終えた帰り道のこと、ボランティアを始めたきっかけをうかがうと、「たまたまなんですよ」とたまたまをくり返す水谷行久さんと八木洋一さん。エコたのしみ隊の中心となって活動を支えているお二人です。退職後に参加した講座がきっかけとなり、人と出会い、つながり、活動するようになったと話してくれました。

「毎回反応が違いますから、あえて台本は作っていません。対話をしながら伝えたいことを話します」「ただし、タイムキーパーは必要ですよ」と、子どもたちの反応に合わせて授業を進めることで、理解



の仕方がまるで違うと言っていました。

今回の出前講座は、5年生4クラス。2時限続きで“地球温暖化”と“節電”について学習しました。手回し発電機・発電負荷実験機・電球の違い比較セットを使った省エネ体験もしました。「ほら!しっかり回さないと電球がつかないよ」「ええっ、回してるよ」と、にぎやかな笑い声が聞かれました。



質問コーナーでは「静電気から電気は作れませんか?」という質問が飛び出し「静電気や雷の電気は一瞬で流れてしまうので、持続する電気には使えないけれど、君が大きくなって研究して使えるようにできるといいですね」とていねいに答えていました。時には簡単には答えられない質問もあります。そんな時には宿題にして、後日、回答しているそうです。

「子どもたちの反応が一番うれしいですね」「対話するのが楽しいんです」…子どもたちの反応が皆さんの活動のエネルギーになっています。

家庭でできる省エネルギー実践活動が、子どもたちを通して家庭に浸透していき、広がっていくことはすばらしいなと思いました。

■問合せ：川崎市地球温暖化防止活動推進センター 省エネグループ ☎ 044-813-1313



## 里山を愛し、里山で楽しみ、里山に寄り添う 早野聖地公園里山ボランティア



“川崎ふるさとの小径”を歩き、柿生の里にある「早野聖地公園」を訪ねました。草刈りをしている方に声をかけてみると、早野聖地公園で里山ボランティアの活動をしているとのこと。改めて活動日にうかがうと、そこには里山でのボランティア活動を楽しみ、自然と共存することを大切にしている皆さんがいました。

雑木林・池・湿地帯があり、田んぼ・畑のある里山は、昭和初期の生活に無くてはならないものでした。しかし、昭和30年代に化石燃料が使われるようになり、薪や炭を使わなくなったために木を切り出すこともなく、放置されたままに40～50年が過ぎていました。1999年、「早野の里山をきれいにしよう」と川崎市が市民に呼びかけました。それに呼応した人々で早野聖地公園里山ボランティアというグループが誕生しました。

### 里山の若返り

里山の再生は下草を刈り、竹林などの間伐(かんばつ)をし、里山の風通しを良くし光を入れることから始まりました。そうすることで冬眠状態の植物が目覚まし、昆虫や鳥も増え、里山が本来あるべき姿に近づいていきます。



古木を切り若木の植樹をすることも、里山若返りのためには大切です。どんぐりを拾い集めて育て、それを植樹しています。

### 循環利用

間伐した木を利用した炭焼きは、年間行事の中でも大きな活動の1つです。痛いほど空気が冷たい寒中、早朝から集まった皆さんの目は開けられる窯に集中します。



数日間火の番をして見守った炭は毎回でき方が違うようで「今回は火が入り過ぎたね。できた炭が少ないよ」との声。それでもミカン箱に45箱分もありました。次の炭の出来を楽しみにしながら、窯の中を平らにならし、新たに原木を並べて火をつけます。炭は毎年、“あさお古風 七草粥の会”に提供したり、春のお彼岸バザーで販売したりします。毎年楽しみにしている方も多く、すぐに売り切れてしまうそうです。

### 農業体験

メンバーの中にいる農業経験者の指導のもと、公園内の畑では季節の野菜を、日陰ではきのこ類を栽培しています。収穫した野菜やきのこで味噌汁を作り、皆で食べるのも活動日の楽しみの1つです。



### 地域とのふれあい

東柿生小学校での出前授業や里山体験の学習支援、6年生の卒業記念の里山植樹などをするようになって数年経ちます。「皆に里山を理解してもらいたい」という思いから学校や地域への協力だけに留まらず、様々なイベントにも参加しています。また、メンバーの1人が所属しているオカリナの会が炭焼き小屋の前で演奏会を開いたり、季節ごとの“感謝祭”では家族も参加して楽しいひと時を過ごすそうです。



### ノルマも遅刻も欠勤も無し!

「いつでも誰でもウエルカム!」、テンポ良く話してくれたのは副会長の小泉清さん。その言葉に呼応するように「散歩にきたら誘われて…」と、声をかけられたのをきっかけに気軽に参加するようになった人もいます。

「五感にふれることができる時間がここでの一番の恵みです」「ここに居るだけで心も身体も元気になる」「自然に優しくすることで、人に対しても優しくなれる気がします」皆さんの、いつも自然と向き合っているからこそその感想に、里山の自然の奥深さを感じます。「大人の遊び場ってところかな」秘密基地を作っている少年のように、キラキラと輝いている皆さんの目が印象的でした。



メンバーの高齢化が心配とはいうものの「公園内の古木や落ち葉などの循環利用が軌道に乗ってきた今の活動を続けることで、里山が元気になり、本来あるべき姿に近づいていくのではないか」という参加者の言葉に、活動が順調にしていることがうかがえました。

秋口から春先まで数回おじゃました今回の取材では、たき火のにおいと共に、ゆったりとした時間の流れを感じ、帰り道ではいつも心が穏やかになっていました。

「この里山でお花見がしたいから」と皆で植えた桜の小さな苗木が、いつの日か山をピンクに染めることでしょう。

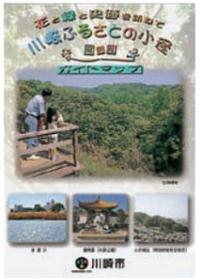


■問合せ：  
早野聖地公園内  
里山ボランティア事務局  
☎ 044-987-7855

ミ  
ニ  
タ  
の  
パ  
レ  
ッ  
ト

特集

# “川崎ふるさとの小径”を歩いて -その1



このガイドマップは区役所・市民館・行政サービスコーナー等に置かれています。

川崎市内には“川崎ふるさと的小径”として散歩道・遊歩道が10コース整備され、ガイドブックや道標・絵看板、休憩所などが設置されています。そして、コースのそこそこで、地域ボランティアの方々が環境の保全、美化活動等に努めていらっしゃいます。今回の特集では、これら“川崎ふるさと的小径”から数カ所を選び、取材紀行を2号にわたってご紹介します。穏やかな日ざしの日、『川崎ふるさと的小径 ガイドマップ』を片手に、ゆっくりと緑陰を歩き、史跡や文化財などをめぐってみませんか。

## 多摩自然遊歩道

4.2km 2～3時間コース

1月中旬の平日午後、多摩自然遊歩道を歩きました。小田急線読売ランド前駅上りホームの無人改札口を出て、目の前の世田谷街道横断信号を渡って細い道に入ると、間もなくよみうりランド入園口の案内板が見えてきます。



住宅が数件ある坂道を抜けると別世界、竹林や雑木林が左右に迫ります。山道の途中に「多摩緑地保全地区」と書かれた市の標識が立っていました。鳥のさえずりが聞こえます。空気が変わります。



この先、一体どんな風景と出会うのだろう…期待を胸に歩を進めます。左手の視界が少しひらけます。多摩美ふれあいの森・健康の森・鳥のさえずり公園という標示板が続きます。森を切り開いた広場にはテーブルやベンチがあります。キャンプファイヤーの跡もありました。ここは川崎・多摩美の山トラストの会などのボランティア団体が、市の里山保全計画のもとで「緑の保全活動」に取り組んでいる地帯です。夏にはここで天体観察の会も行われています。

山道を歩き始めて10分ほど、急に目の前が開けました。車道の先は読売ランド、右手には日本テレビ生田スタジオ、そして、読売巨人軍合宿所があります。近くには東京ヴェルディ・フットボールクラブもあります。

生田スタジオ前を左に折れた道の突きあたりは菅さくら公園、さらに公園の壁沿いを左折して進むと川崎市農業技術支援センターが見えてきます。旧称はフルーツパーク、地域農業の発展と振興、市民の理解と参加を促進することを目的とした施設です。梨園・ミカン園などのほか、ガラス温室ではシクラメン等の研究にも取り組んでいます。熱帯果樹温室にはパイナップルやアボガドなどの樹木も茂っています。援農ボランティアの養成にも取り組んでいます。



センターを出て臨済宗建長寺派の古刹、古利寿福寺を抜けると左手に鬱蒼とした小山が見えます。登り口の道標に小沢城址緑地保全地区とありました。平安末期の武将稲毛三郎重成が築城した山城です。



前夜降った雨で濡れた落ち葉に足をとられながら幅1mあるかないかの山道を登ります。関八州が見渡せたという頂に浅間山という名の入った標識があり、浅間神社と名付けられた高さ1m足らずの石塔がありました。富士信仰を物語る石塔です。

物見台・古井戸・空堀の跡をたどりながら下り、三沢川沿いを歩きます。菅北浦緑地の右手に薬師堂がありました。境内には立派な土俵がありました。さらに菅馬場谷特別緑地、土淵不動院まで歩きました。空気がおいしい3時間の旅でした。



## 柿生の里散歩

6km 4～5時間コース

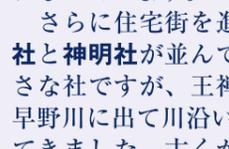
10月とは思えぬ暖かい土曜日。柿生の里散歩道を歩きました。地元名産の禅寺丸柿を使ったお菓子を盛んに宣伝している柿生駅前商店街を抜け、左側のゆるやかな坂を登ると右手に雑木林が見えてきます。おっ越山ふれあいの森です。「柿生の里散歩道の豊かな緑と歴史を次世代に手渡そう」と始めたボランティアグループ『まちはミュージアム 遊歩道ファンクラブ』のお知らせが入口の掲示板に貼ってありました。手入れの行き届いた木々の間から新百合ヶ丘の町並みが見え、尾根道に心地よい風が吹き抜けていきます。



舗装道に出て少し行くとまた森が見えてきます。450年ほど前に建立された月読神社の森です。少々早目の七五三のお参りでにぎやかな境内を抜けると静かな雑木林の道が続きます。その先を左に入ると、火伏せ不動として有名な麻生不動があります。1月28日の初不動は、「関東納めのだるま市」として知られ、遠方からもたくさんの人が訪れます。本道に戻ってコスモスが咲いている道を行くと下麻生花島公園があり、先の細道を行くと籠口(ろぐち)の池が見えてきます。崇源院(=お江)の伝説が残るこの池は、江戸時代に灌漑用水として造られ、地域の稲作を支えていました。現在は調整池となり、池を囲むように桜の木が植えられて公園になっています。



さらに住宅街を進むと、細い道の左側に稲荷森稲荷神社と神明社が並んでいます。見逃してしまいそうな小さな社ですが、王禅寺村の鎮守5社のうちの2つだそうです。舗装道路を早野川に出て川沿いに歩を進めると、子(ね)ノ神社からお囃子の音が聞こえてきました。古くからある早野お囃子連の練習でしょうか、境内に子どもたちの自転車も並んでいます。心地よいテンポを耳に残して川沿いを左に曲がると市民農園が続きます。農地と住宅の間の細い道を抜けた先には早野野地公園があります。ここには公園墓地と自然環境の保全・再生を考えた里山があり、ボランティアの方々が里山再生の活動をしています。この日も炭焼き小屋の付近では数人の男性が草刈をしていました。(本文P3参照)



里山を抜け、1826年四国金刀比羅宮の祭神を勧請して再建されたという琴平神社の前の坂を登ると左手に林が続きます。市制60周年記念王禅寺ふるさと公園です。自然林を活かした散策路、芝生広場、多摩川をイメージした小川などがあり、多くの人が午後のひと時を楽しんでいました。穏やかな時の流れを感じながら、ゆっくりと散策を楽しみました。心身のリフレッシュに最適なコースでした。



里山を抜け、1826年四国金刀比羅宮の祭神を勧請して再建されたという琴平神社の前の坂を登ると左手に林が続きます。市制60周年記念王禅寺ふるさと公園です。自然林を活かした散策路、芝生広場、多摩川をイメージした小川などがあり、多くの人が午後のひと時を楽しんでいました。穏やかな時の流れを感じながら、ゆっくりと散策を楽しみました。心身のリフレッシュに最適なコースでした。



## 柿生の峰をめぐる散歩道

6km 4～5時間コース

11月下旬、午前10時、快晴、気温15度。絶好の日和に誘われて小田急多摩線黒川駅で下車。南口に出ると目の前にコースの案内板が立っていました。すぐに左折して峰をめぐるコースの案内板が立っていましたが、せっかくの天気誘われてまずは右手へ。

鶴川街道を渡って左に歩くと小高い森に黒川地区の鎮守汁守(しるもり)神社の鳥居が見えます。社殿は1782年の再建とか。広い境内に「まの樹50選」のヤブツバキがありました。



神社の真向かいには平成20年開業のセレスアモスが賑わいを見せています。ここはセレスアモス(農協)が運営する地場農産物等の大型直売店、生産者から直送されたり、集荷場に運ばれたとれたて野菜などが売られているのです。

セレスアモスから折り返して黒川駅前を通り過ぎ、少し先の案内板に沿って右手の坂道を上がりきると、そこが川崎市黒川青少年野外活動センターです。江戸時代の市川塾を源とする旧柿生小学校黒川分校の跡地に建てられて20年、パーベキューインストラクター講習・親子アウトドア教室・自然体験フェスティバルなどの取組をしています。この日は畳敷きの宿泊施設で年配の方たちが食事をしていました。



センターの裏道に入るといよいよ柿生の峰、1mあるかないかの山道を濡れ落ち葉を踏みしめながら歩くコースです。左手林間にマイコンシティの企業群が見え隠れします。少しコースからはずれませんが、町田市立真光寺公園もゆったりと過ごすには最適なスポットです。



公園内を突っ切ってバス通りから左折、真光寺緑地の看板を頼りに再び峰のコースに戻りました。

桐光学園のキャンパスがしばらく続きます。車道を一本横切り、さらにいくつもある「マムシ注意」の文字を見ながら山道を抜けると川崎フロンターレのグラウンド。この日も係員が黙々と芝の手入れをしていました。



グラウンド沿いに一端平地に出ます。護岸整備が施された片平川横の道を下り、左右に16世紀創建の日蓮宗善正寺、15世紀開創の曹洞宗修廣寺を訪ね、柿生小学校前を進み、紅葉に包まれた麻生川を渡って、ようやくコースの終点、柿生駅にたどり着きました。

ガイドマップ・飲み物・着替えなどが必携、道のりたっぷりのコースです。

# 施設めぐり

市内公的施設および当財団が管理運営する施設のご紹介

## フラザ橋 (高津市民館・図書館橋分館)

南武線・東急線溝口駅・新城駅・小杉駅からバス便。最寄りのバス停は「子母口住宅前」「能満寺」「蓮花寺」 ☎ 044-788-1531

「プラザ橋」は高津市民館橋分館と高津図書館橋分館が一つに合わさった施設です。市民館としては各種学習会・講座・催し物などを開催し、学習グループや団体の皆さんに学習室・実習室などを利用していただいています。また、図書館としては、蔵書約40,000冊と小規模ですが、小さなお子さんからシニア世代まで幅広く親しまれています。

プラザ橋が位置するのは、高津区を魚の姿に見立てるとちょうど尻尾の辺り。かつては農村地帯で近年宅地化が進んだエリアであり、公共施設の少ない地域といえます。平成5年の開館以来ずっと利用しているという方もいれば、お近くに住んでいても足を踏み入れたことがなかったという方もいらっしゃると思います。多くの方に気軽に利用していただくために、さらに創意工夫を重ねていきたいと考えています。



〈認知症学習会の出前〉 全国で300万人を超えている認知症について、地域団体・市民団体・グループなどへ学習会の出前をします。認知症を地域で支えるまちづくりを目指す「認知症サポーター養成講座」に準じた取組です。

## 川崎市体育館

JR川崎駅・京急川崎駅から徒歩15分、または川崎駅東口からバス「教育文化会館前」下車徒歩0分 ☎ 044-200-3255

川崎市体育館は昭和31年4月に開館し、本年3月で56年が過ぎました。現在でも市内のスポーツセンターとしてたくさんの方々にご利用いただいています。

予約なしで利用できるスポーツデー、乳幼児から高齢者までを対象とする多彩なラインアップのスポーツ教室、ヨガなどは大人気でいつも定員を超える応募があります。トレーニング室は女性や初心者の方でも使いやすいマシンをそろえてリニューアルしました。また、川崎区で推奨しているカローリングの普及にも取り組んでいます。気軽にお問合せください！



写真上：親子スポーツ教室  
写真右：カローリング教室

### 〈主な施設〉

大ホール(競技場・トレーニング室・更衣室・打ち合わせ室) 補助ホール・会議室・和室 など

### 〈利用時間等〉

利用時間：9:00～21:30  
※種目によって異なります。  
休館日：年末年始と年7回の点検日

## 子ども夢パーク

JR南武線津田山駅下車徒歩5分 ☎ 044-811-2001

隔月で発行される『夢パークつうしん』。イベントの報告や、スタッフが日常のエピソードを伝える“スタッフの目～日常の一コマ”、フリースペース“えん”や支援委員会、子どもたちの活動の報告、また、夢パークの予定をお知らせするカレンダーなど、いつも盛りだくさんです。

今回は、その『つうしん』に、「夢パークからこんにちは！」という特集号を挟み込みました。夢パークで大事にしている、「自分らしく」「遊び」「つくり続けていく場」についての内容や、「夢パークってこんなトコロ」を楽しいイラストでお知らせしています。また、よくある質問を「もっと知りたい！夢パークQ&A」でお答えしています。夢パークのことをもっと知りたい方、ぜひご覧ください！！『夢パークつうしん』、『特集号』は夢パークや公共施設に置かれています。

### 〈今後のイベント〉

- ◆クリスマスイベント 12/22 (土) 夢パークにサンタが登場
- ◆初夢！新春イベント 1/13 (日) もちつき・どんど焼き・書初め・昔遊び
- ◆夢パスポーツデー 2月中旬～3月上旬予定
- ◆KUJ I ROCK 3月下旬 スタジオ利用者音楽イベント



イラスト「夢パークってこんなトコロ」の一部

市内施設の各種取組と当財団が主催する講座等のご案内

# 情報ポケット

## シリーズ 市内の短大・専門学校「市民向け生涯学習の取組」④

### 日本溶接構造専門学校

川崎区本町2-11-19 (JR川崎駅徒歩15分 京急川崎駅徒歩10分)

☎ 044-222-4102

(財)日本溶接技術センターが運営する日本溶接構造専門学校は、昭和52年4月に創立された、溶接技術・非破壊検査技術等を基礎として各種「ものづくり」の中高級技術者を養成する日本唯一の専門学校です。社会のニーズにあったカリキュラムを編成し、企業での実戦経験豊富な講師陣が、社会に出てすぐに役立つ知識や技術を丁寧に教えます。



#### 〈毎月受講機会のある講座〉

- ◆ガス溶接技能講習◆
- ◆アーク溶接特別教育講習◆

受講時期・受講回数等の詳細はお尋ねください!

#### 〈3ヵ月～半年ごとに受講機会のある講座〉

- ◆非破壊検査講習会◆
- ◆溶接管理技術者認証研修会◆
- ◆抵抗溶接技術の実務教育講習会◆

〈不定期に実施する講座〉 ◆チタンの利用に関する溶接実務講習会◆

【(公財)川崎市生涯学習財団・川崎市中原市民館 主催事業】

### 平成24年度シニア活動シンポジウム 新たなシニア世代の仲間づくり ～地域貢献活動に向けて～

日時：平成25年2月20日(水)  
14時～16時

会場：川崎市中原市民館 視聴覚室  
(最寄駅はJR・東急武蔵小杉)

内容：仲間づくりから地域貢献活動を実践されている方々の報告と話し合い

◇シンポジスト…地域貢献活動団体代表者 (予定)

◇コーディネーター…田中雅文 (日本女子大学教授)

定員：60名(申込み不要…当日先着順)

問合せ：川崎市生涯学習財団事業推進室  
☎ 044-733-6626



【(公財)川崎市生涯学習財団シニア活動支援事業】

平成24年度 小学校

### 理科実験・準備ボランティア養成講座

小学校の理科授業を支援するために必要なボランティアを養成します。理科授業をより活発にするためにどのようなアシストができるのか、具体的な作業内容や心構えについて学びます。

◆25/1/19(土) 13:30～15:30

小学校の理科教育やボランティアの活動についての理解

◆25/1/24(木) 13:30～15:00 東住吉小学校

ボランティアの活動の見学と仕事の理解

◆25/2/9(土) 13:30～15:30

川崎市の人権教育、今後の手続き

◇講師：川崎市教育委員会総合教育センター指導主事ほか

◇会場：川崎市生涯学習プラザ(武蔵小杉駅南口徒歩15分)

◇募集対象：20名、45歳以上、3回とも受講できる方

◇受講料：1,500円(資料代を含む)

◇申込み：Faxまたは往復はがきで(氏名・連絡先等)

◇申込締切日：H25/1/7(月)必着 定員超過は抽選等で決定

◇申込・問合せ先：〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1

川崎市生涯学習財団 事業推進室 宛

☎ 044-733-6626 Fax 044-733-6697



## あ と が き

この8月、全国の大都市(19政令市、東京23区)の2010年の人口動態が発表された。川崎市の人口の自然増加率は25年連続の1位という◆高い出生率、低い死亡率が背景にあるとのことだが、市内各所で高層マンションの建設が進むなど、活力ある川崎の今を感じるのはいはらしい◆その一方で、これは川崎に限ったことではないようだが、隣家・隣人と顔を合わせ、言葉を交わす関係は希薄化の一途をたどっているように思う。地域の大人に見守られつつ安心して遊ぶ環境を持たない子どもも増えているのではないか。こうした環境の中で子どもたちは何を考え、何をして過ごしているのだろうか◆都市の進展の裏側に見え隠れする子育て、教育の課題も忘れてはならない。地域住民として共に考え、取り組むべき大切な課題のひとつだと思う。

**放送大学平成25年度4月入学生募集**

(教養学部・大学院文化科学研究科修士課程)

応募期間 平成24年12月1日(土)～平成25年2月28日(木)  
インターネット出願は平成24年11月15日(木)～

放送大学は、  
1科目から学べる、  
通信制の大学です。

- テレビやラジオで、マイペースに授業が受けられます。
- お近くの学習センターが学びをサポートします。
- 放送大学「エキスパート」なら、興味のあるテーマを体系的に学べます。



〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11 TEL 043-276-5111(総合受付)

詳しくは、電話・FAX・HPで募集要項(無料)をご請求ください。

**0120-864-600**

[www.ouj.ac.jp](http://www.ouj.ac.jp)

検索エンジン(yahoo! JAPAN・Google 等)で、「放送大学」とご入力の上、ご覧ください。



**神奈川学習センター**

**大学説明会&入学相談会のご案内**

住所：横浜市内南区大岡2-31-1

TEL：045-710-1910

最寄駅：横浜市営「弘明寺」5分、京急「弘明寺」徒歩12分

◇公開講演会 13:00～14:00 (定員 180名 ※要予約)

- ① 12/16(日) 「環境問題における嘘(うそ)と真(まこと)」
- ② 1/19(土) 「人を活かす組織」
- ③ 2/3(日) 「酒と食と発酵文化」
- ④ 2/9(土) 「地震! あなたの家は大丈夫?」
- ⑤ 2/17(日) 「記憶の心理学」

◇大学説明・施設見学・入学相談 14:30～16:30

◆入学相談会(学生種・科目の選び方、出願票記入等々) ※要予約  
2月19日(火)～28日(木) 但し2/25(月)を除く  
各10:00～12:00、14:00～17:00

**東京渋谷学習センター**

**大学説明会&入学相談会のご案内**

住所：渋谷区道玄坂1-10-7

TEL：03-5428-3011

最寄駅：渋谷(JR、東京メトロ、東急、京王) 5～8分程度

◇大学説明会 13:30～14:00 15:00～15:30 【予約不要】

◇入学相談会 10:00～16:00 ※要予約

12/16(日)、1月13日(日)、19日(土)

2月10日(日)、16日(土)

会場：東急プラザ8階 AP渋谷

◆入学相談会

2月19日(火)～28日(木) 但し2/25(月)を除く

各日とも 10:00～16:00 ※要予約

会場：東京渋谷学習センター講義室他

詳しくは各学習センターにお問い合わせください。

(公財) 川崎市生涯学習財団・(公財) 日本股関節研究振興財団 連携事業

《股関節に着目した健康講座と体操実習》

**ロコモン体操で あなたの「膝」「腰」「骨」は 大丈夫!!**  
のぼそう「健康寿命」-いつまでも元気で歩くために

「腰が痛い、膝が痛い」といった不調を訴える人は50歳を過ぎると急増します。日本整形外科学会公認のロコモン体操であなたの健康寿命を延ばしましょう。股関節は人が元気に歩き続けるためにはなくてはならない関節です。ロコモン体操は股関節の動きに着目して作られたやさしい健康体操です。



回	月/日	内容	講師
1	1/17(木)	ロコモン体操の実技(座位・臥位)	メディカルフィットネス研究所 代表 太藻ゆみこ
2	1/24(木)	《骨密度測定と講義》 ロコモティブシンドロームを知っていますか?	聖マリアンナ医科大学教授 別府諸兄 太藻ゆみこ
3	1/31(木)	ロコモン体操の実技(立位・臥位)	太藻ゆみこ
4	2/7(木)	ロコモン体操の実技(まとめ)	太藻ゆみこ
5	2/14(木)	《講義と実技》寝たきりにならないで健康寿命を延ばすには?	別府諸兄、太藻ゆみこ

◇日 時：2013/1/17(木)～2/14(木) 9:30～11:30

◇会 場：川崎市生涯学習プラザ

◇受講料：9,000円

◇教材費：1,000円

◇定 員：50名

◇申込み：2012/11/15(木)から 電話・FAX・はがき、または、来館で受付。(先着順)

☎ 044-733-6626

〒211-0064 川崎市中原区今井南町 514-1 川崎市生涯学習財団事業推進室

FAX 044-733-6697